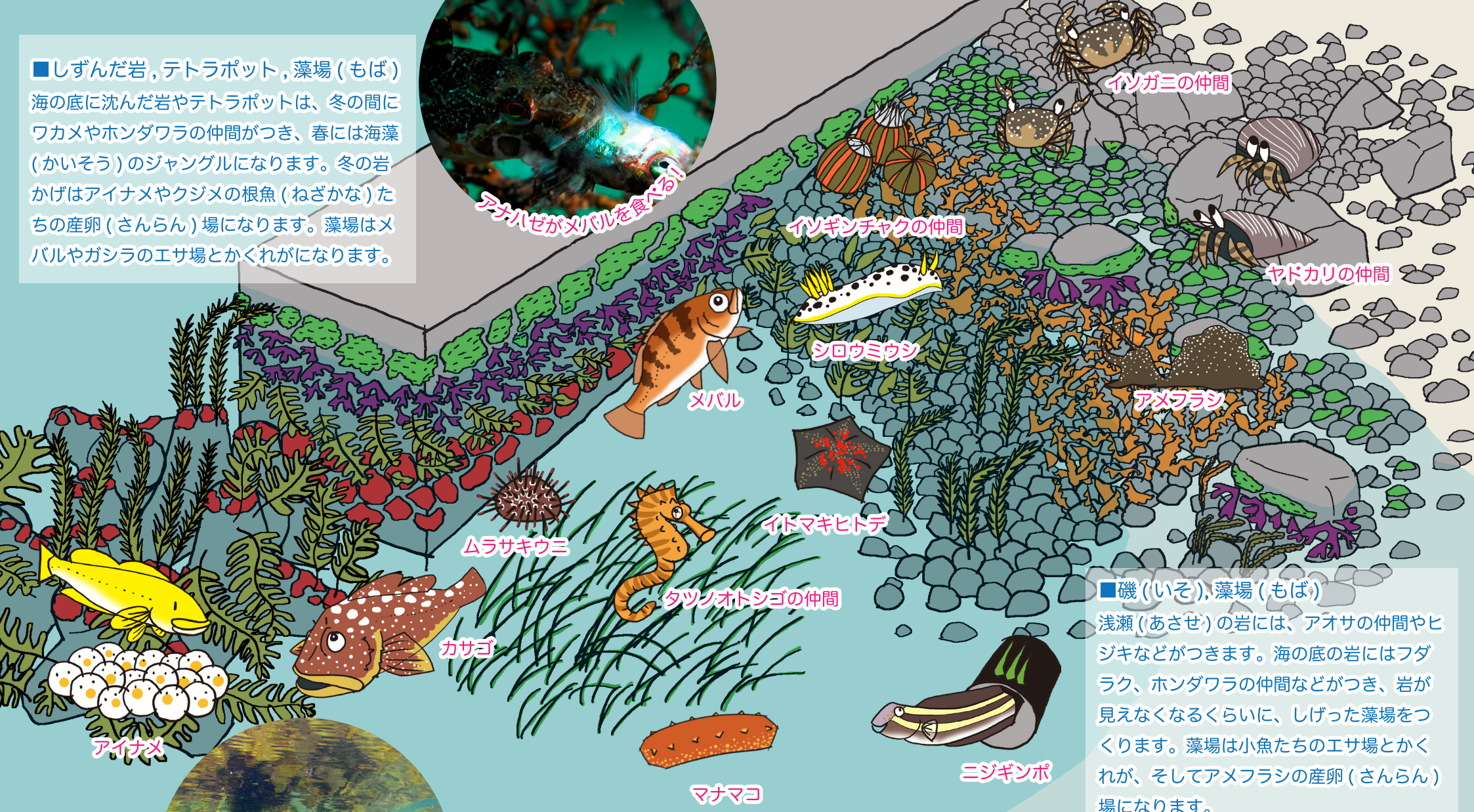


■しずんだ岩, テトラポット, 藻場 (もば)
 海の底に沈んだ岩やテトラポットは、冬の間にワカメやホンダワラの仲間が付き、春には海藻(かいそう)のジャングルになります。冬の岩かげはアイナメやクジメの根魚(ねざかな)たちの産卵(さんらん)場になります。藻場はメバルやガシラのエサ場とかがれがになります。



アサハセがメバルを食べてる!



イソガミの仲間

イソギンチャクの仲間

ヤドカリの仲間

メバル

シロウミウシ

アメフラシ

ムラサキウミ

イトマキヒトデ

タツノオトシゴの仲間

カサゴ

マナマコ

ミジギンポ

■磯(いそ), 藻場(もば)
 浅瀬(あさせ)の岩には、アオサの仲間やヒジキなどがつきます。海の底の岩にはフダラク、ホンダワラの仲間などが付き、岩が見えなくなるくらいに、しげった藻場をつくります。藻場は小魚たちのエサ場とかがれが、そしてアメフラシの産卵(さんらん)場になります。



色とりどりの海

■砂地(すなじ), アマモ場
 砂地の底にはアマモが根をはり、草原のような藻場(もば)をつくります。メバルなど魚たちのエサ場になります。タツノオトシゴの仲間が、アマモにからみついたりします。

アジュール舞子ガイドマップ(冬春)

山の木々が葉を落としている冬の海の中は、色とりどりの海藻(かいそう)がしげる季節です。魚たちがこどもを産み、そのこどもたちは、海藻のジャングルをすみかにして大きくなります。海の中の季節は、陸上よりもひとつ先にいっているようです。